

詠む広場

毎日俳壇

井上 康明 選

片山由美子 選

小川 軽舟 選

西村 和子 選

金蘭のほかに甘き香なりけり

町田市 枝澤 聖文

△評▽キンランは、晩春、雑木林などに黄色い穂状の花を上向きに咲かせる。木漏れ日にひそかに咲く花は、高貴な甘い香を漂わす。啓蟄や幽かな地鳴りそこそこ

△評▽かすかな地鳴りは、冬ごもりをしてきた虫たちが地上に出て来る時、大地を震わせるのだろう。天地の声なき声に桜咲く

唐津市 梶山 守

△評▽結婚式の控室などで出されるのが定番の桜湯。おめでたい席であることが下でわかる。陽のあたる辺り色濃き木の芽垣

早春や洗濯ものに日の匂ひ

奈良 高尾山 昭

△評▽結句の控室などで出されるのが定番の桜湯。おめでたい席であることが下でわかる。

長崎市 鶴田 鴻己

△評▽早春の味わいを楽しみにツクシのはかまを取る。広げた新聞紙の上の様子も楽しげだ。

可児市 鷺津 誠次

硬券を切る音固し梅ふふむ

横浜市 田中 清春

一つだけ綺麗なままの落椿

茅ヶ崎市 小林 香織

校正のちびた鉛筆啄木忌

川崎市 久保田秀司

薄墨の空に向かって木の芽張る

東京 国島さみこ

湖暗し比叡風は雪まじり

神戸市 小林 照明

嘴と尾に雪のせて鴉鳴く

熊本市 夏風かをる

鶯の渡るを聞くや切通

東村山市 小熊 寿房

春の灯を二つ点して一人なる

平塚市 日下 光代

△評▽春の灯はあたたかさとはなやぎを感じさせるものだが、ひとり部屋の照らす明るさに、逆に孤独感をつのらせているのだ。桜湯や花びらほどけ笑みこぼれ

長崎市 鶴田 鴻己

△評▽早春の味わいを楽しみにツクシのはかまを取る。広げた新聞紙の上の様子も楽しげだ。

可児市 鷺津 誠次

硬券を切る音固し梅ふふむ

横浜市 田中 清春

一つだけ綺麗なままの落椿

茅ヶ崎市 小林 香織

校正のちびた鉛筆啄木忌

川崎市 久保田秀司

薄墨の空に向かって木の芽張る

東京 国島さみこ

湖暗し比叡風は雪まじり

神戸市 小林 照明

嘴と尾に雪のせて鴉鳴く

熊本市 夏風かをる

鶯の渡るを聞くや切通

東村山市 小熊 寿房

春愁といふも病か保健室

志木市 谷村 康志

△評▽思春期の生徒だろう。身体は特に異状はないが、教室には戻れない。保健室の役割はこんなところにもあると思わせる。自転車で走る校庭春休

出雲市 石原 清司

△評▽普段は禁止されていることを、思い切りできる爽快感。進級も決まり桜もつぼむころ。住職のかはる話も彼岸寺

佐世保市 相川 正敏

撫で肩の若狭の仏花の雨

武蔵野市 三井 一夫

草餅の最後の一個はんぶんと

大阪市 木挽 弘志

雪折れの枝の蕾の咲かぬまま

米子市 田後 直子

母は子に子は風船に手を引かれ

北本市 萩原 行博

チューリップ取り取り揺らす通り雨

尼崎市 小石 絹子

半島の山みな丸し鳥帰る

弥富市 富田 範保

対岸の釣り師けふれる柳の芽

浜松市 野畑 明子

春愁といふも病か保健室

志木市 谷村 康志

△評▽思春期の生徒だろう。身体は特に異状はないが、教室には戻れない。保健室の役割はこんなところにもあると思わせる。自転車で走る校庭春休

出雲市 石原 清司

△評▽普段は禁止されていることを、思い切りできる爽快感。進級も決まり桜もつぼむころ。住職のかはる話も彼岸寺

佐世保市 相川 正敏

撫で肩の若狭の仏花の雨

武蔵野市 三井 一夫

草餅の最後の一個はんぶんと

大阪市 木挽 弘志

雪折れの枝の蕾の咲かぬまま

米子市 田後 直子

母は子に子は風船に手を引かれ

北本市 萩原 行博

チューリップ取り取り揺らす通り雨

尼崎市 小石 絹子

半島の山みな丸し鳥帰る

弥富市 富田 範保

対岸の釣り師けふれる柳の芽

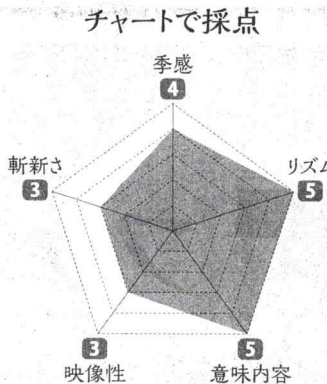
浜松市 野畑 明子

俳句をふてふ

注目的一句

アイラフユなんて訳そう春の月

水芭蕉



夏目漱石の有名なエピソードを踏まえたものでしょう。英語教師だった漱石が、授業で「日本人なら「love you」は「月がとっても青いなあ」と訳すものだ」と語ったとか。実は創作だそうですが、非常に人気があり、あちこちで紹介されるうちにさまざまなおバリエーションが生まれました。

掲句で月を仰いでいるのは、今まさに恋愛中の人でしょう。エピソードを思い出して自分ならどんな言葉でこの気持ちを表そうかと考えている。あふれる思いを託すには、既存の訳はどれも力不足だからです。そんな気持ちに寄り添うのは、さやかな秋の月よりも、したたるような春の月なのかもしれません。(えんどう・みか「俳人」)

今回から「気になる3句」を紹介します

気になる3句

みちのくの風の甘さや花りんご
顔洗ふ三月十一日の朝
春霞 ハシビロコウの数式編む

すいれんなお
塩津
たなかかなた

アプリ
俳句てふてふ

投稿はアプリから。ダウンロードはこちら